

書道口課題③ 仮名の書の古典に学ぼう 高野切第一種①〈教科書 68 ～ 69 ページ〉

目標

* 高野切第一種を通して、連綿(文字のつらなり)に慣れる。

* 変本仮名や平仮名の形に留意しながら、平安時代の書を書くことができる。

前回に、平仮名と変体仮名をまとめたので、今回は連綿に慣れましょう。用具は家にあるもので可。

小筆・筆ペン・鉛筆・シャープペン・万年筆。線の強弱がつきやすい面では筆がベストです。シャープペンは線が固くなるので鉛筆のほうが望ましいです。万年筆も強弱が少しはつくのでボールペンよりは良いと思います。

部分はしっかりと留まるようにしましょう。回数は紙に入るだけ何回でも！

